

2012年2月17日

愛媛県知事

中村時広様

伊方町長

山下和彦様

四国ブロック平和フォーラム

議長 森 信夫

愛媛県平和運動センター

議長 松本修次

徳島人権・平和運動センター

議長 木村達也

高知県平和運動センター

議長 山崎秀一

香川県平和労組会議

議長 森 信夫

## 全国一斉さようなら原発集会に関する緊急申し入れ

東京電力福島第一原発の事故は、高濃度の放射性物質が環境に放出され、未曾有の大事故となつてしまいました。

原子炉や燃料プールへの冷却水は高濃度の放射性物質を含む汚染水となり、海中に放出され、原子力施設とその周辺地域は放射線によって立ち入ることができません。

今回の事態によって、社会も経済も大きなダメージを受け、混乱が続いています。

これまで「日本の原発は絶対安全」としていた原発の「安全神話」が崩壊する重大な人災であります。

しかし、国は東京電力福島第一原発事故の究明もせず、古い仲間が古い基準で「ストレステスト」を判断する、加えて電力不足のキャンペーンなど、安全基準や原発事故に対する反省が微塵も感じられません。

私たちは、2月18日に四国ブロック平和フォーラム主催の「さようなら原発 2.18 四国集会」を開催し、地震多発国「日本」で安全な原発なんてありえないこと、中央構造線から6kmにあり有数の地滑り地帯に立地する伊方原発の危険性、また「伊方原発運転差止訴訟」の提訴中であることなど、再稼働を認めないことを意思統一します。

住民の生活と命を守るために原発の再稼働を認めず、負の遺産としての放射性廃棄物をもうこれ以上増やさない、原発から再生可能エネルギーによる持続可能で平和な社会を創造するための政策を積極的に進めていただきますよう申し入れ致します。

### 記

- ①伊方原発の再稼働を認めないでください。
- ②使用済み核燃料プールの安全性をさらに高めるよう四電に求めてください。
- ③伊方原発の廃炉計画を四電に求めてください。
- ④再生可能エネルギー政策を積極的に進めてください。

以上